

レファレンス・トピック

1階小説読物室前では、「大政奉還 150年」に因み10月31日まで関連資料を展示しています。フランスからパリ万国博の参加を招請された将軍慶喜は、1867年これに応じ、14歳の弟昭武を自らの名代としてフランスに派遣しました。(※【 】は当館請求記号)

質問：1867年の徳川慶喜の弟・昭武のパリ万博派遣について書かれた資料を知りたい。また、随行した人々についても知りたい。

■徳川昭武のパリ万博派遣

・『徳川昭武幕末滞欧日記』(徳川昭武/[著] 山川出版社 1999.5)【210.59/48N/】は、「昭武自身の日本文及び仏文での自筆日記」と「昭武随行団の本国幕閣宛通信を中心とした滞仏期文書」から構成されています。「第一部 徳川昭武日記」は、ヨーロッパが幕末の人々、とりわけ少年昭武の目にどのように映ったかがよくわかります。

以下の資料も数多くの史料や関連する研究書を参考として、詳しく記述されています。
 ・『プリンス昭武の欧州紀行：慶応3年パリ万博使節』(宮永孝/著 山川出版社 2000.3)【210.59/55N/】
 ・『徳川昭武：万博殿様一代記(中公新書)』(須見裕/著 中央公論社 1984.12)【L2/750/(2)】

次の資料p.164-167には、昭武のパリ万博派遣を報じるヨーロッパの新聞や洋服姿の昭武の写真が掲載されています。
 ・『将軍・殿様が撮った幕末明治：徳川慶喜・昭武・慶勝写真集(別冊歴史読本)』(徳川慶喜/[ほか撮影] 新人物往来社 1996.4)【210.58/95N/】

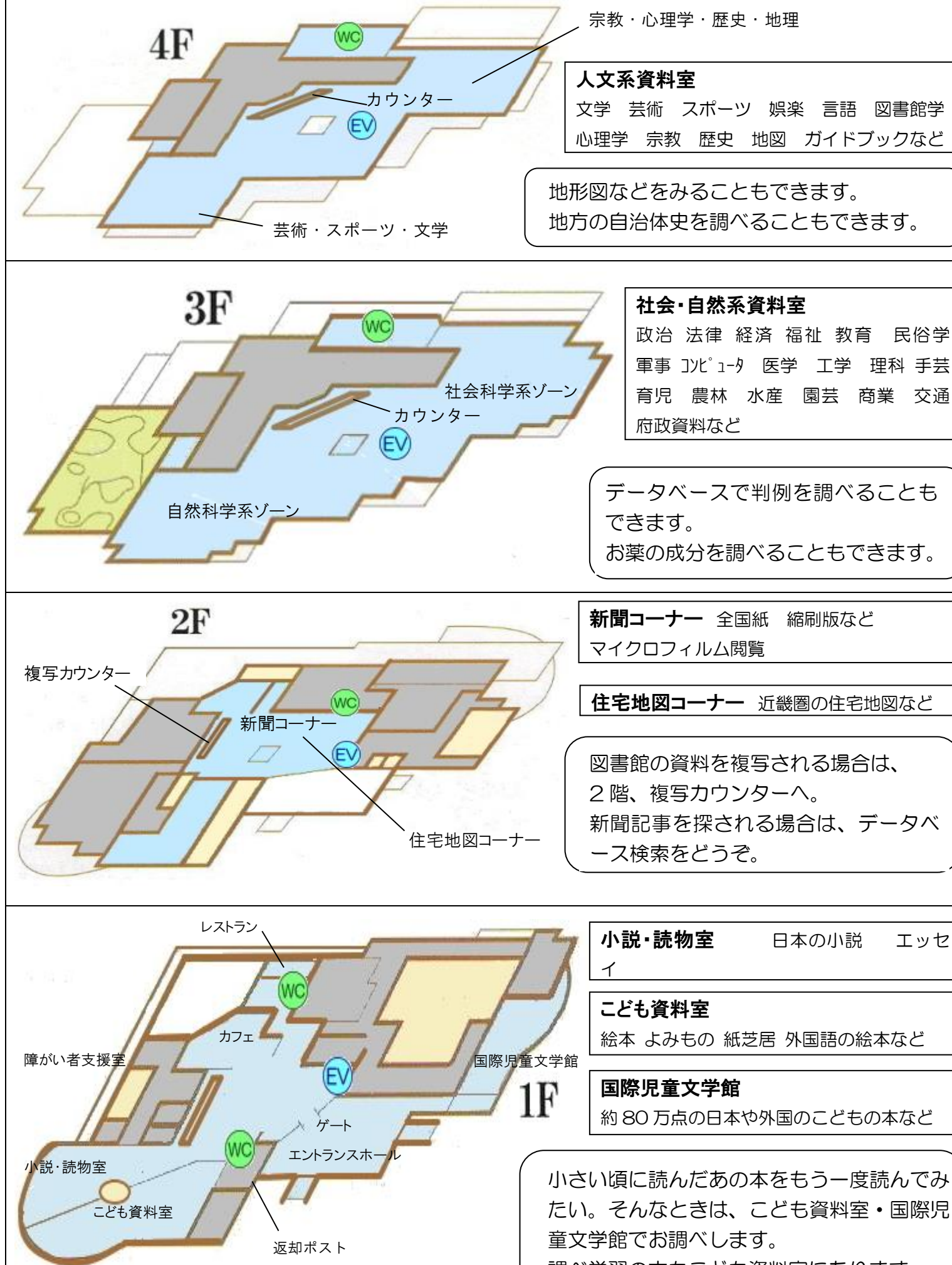
■昭武に随行した人々

『プリンス昭武の欧州紀行：慶応3年パリ万博使節』p.10-12には昭武に随行した人々の記述があります。以下は彼らについて書かれた資料です。

- <箕作麟祥(みつくり りんしょう)>
 ・『日本近代法学の祖箕作麟祥：生誕170周年記念』(津山洋学資料館/編集 津山洋学資料館 2016.10)【289.1/7305N/ミツ】
- <高松凌雲>
 ・『医傑凌雲：病には身分の貴賤も敵味方もない』(林洋海/著 三修社 2010.6)【289.1/5519N/タカ】
- ・『夜明けの雷鳴：医師高松凌雲』(吉村昭/著 文芸春秋 2000.1)【913.6/13883N/ヨシ】
- <渋沢栄一>
 ・『渋沢栄一、パリ万国博覧会へ行く：渋沢栄一渡仏一五〇年』(渋沢栄一記念財団渋沢史料館 2017.3)【293.09/156N/】
- ・『徳川慶喜と渋沢栄一：最後の将軍に仕えた最後の幕臣』(安藤優一郎/著 日本経済新聞出版社 2012.5)【289.1/6062N/シブ】
- <栗本鋤雲(くりもと じょうん)>
 ・『栗本鋤雲：大節を堅持した亡国の遺臣(ミネルヴァ日本評伝選)』(小野寺龍太/著 ミネルヴァ書房 2010.4)【289.1/5490N/クリ】

この他にも関連の資料は多数ありますので、ぜひご利用ください。

館内レファレンス案内図



あなたの知りたいこと 調べたいこと お手伝いします！ レファレンスサービスのご案内

暮らしの中の疑問から、
仕事に必要な調査まで、
図書館の資料やデータを使って
調べ物や資料探しのお手伝いをする、

それが**レファレンスサービス**です。

例えば・・・

トピック

1867年の徳川慶喜の弟・昭武のパリ万博派遣について書かれた資料を知りたい。また、随行した人々についても知りたい。

回答例は裏面で！



〒577-0011 東大阪市荒本北 1-2-1
 ☎06-6745-0170 FAX 06-6745-0262

大阪府立中央図書館

作成日 2017年10月20日